

# 研究会「仮想空間でのイノベーションカフェを 試してみよう」

～テレワークの中での集合場所の意味を考える～  
2020年12月20日(日曜)午後3時30分～5時

開催方法: オンライン会議で試作仮想空間カフェを体験しながら

主催者: 青山学院大学名誉教授 井田昌之

参加者予定数: 最大25名 (仮想カフェツールの同時利用者上限推定による)

会費: 研究会であり、無料

資料: PDF ファイルで事前配布

内容 全体で一時間半の解説・質疑・実体験

長期化するコロナ禍の中で、テレワーク・自宅作業が定着し、オフィススペースの見直しや、対面会議、対面研修等をどう位置づけるかが問われる段階に入っていると感じている。すべて個人事業として行える業務ばかりではないし、会社としての意志決定にはどうしても会議が必要な部分は残るだろう。人との話し合い・語り合い、そして研修、などは、いつも新しい刺激と活力を与えるものである。もし仮想空間を利用して、そうした活動を実施できるならば、という問いを考える機会としたい。

例えば次のようなシーンに有効ではないか？

1. 在宅・テレワークの中で、定期的にかかれたおしゃべり・情報交換の場所・たまりば、
2. 図書・記録のアーカイブを必要に応じて参照する場所、
3. スライドやビデオを使って、仮想空間の中でレクチャー、
4. 在宅・テレワークが主となるなら、むしろ企業の事務所を仮想空間に置けるのでは？

申し込み方法

12月17日午後6時まで、件名に「12月オンライン研究会」、本文に、氏名と返信先メールアドレスを記したメールを、[masa@prof-ida.com](mailto:masa@prof-ida.com) まで送信。受け付けたら返信先メールアドレスに、アクセス方法等を当日数日前に連絡します。

当日の流れと使用するパソコンについて

仮想空間のカフェには、指定する URL をブラウザに与えてアクセスします。この体験の説明を交えながら、考察していきます。仮想空間を表示するブラウザ画面と Webex オンライン会議のウィンドウの二つを開いて進めます。キーボード付きのパソコンが必要です。高性能のパソコンは不要。ディスプレイが大きいか2つ接続できることが望ましい。

以上